

# wish

前橋市手をつなぐ育成会報

●●●ウィッシュ

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>メールアドレス [info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)

発行所  
前橋市手をつなぐ育成会  
前橋市東上野町459-1  
前橋市立前橋特別支援学校内  
TEL027-260-3001  
発行人 原澤 正光  
印刷所 マルエー印刷  
TEL 027-232-1684

## 平成29年度 前橋市手をつなぐ育成会総会

平成29年5月31日(水)、前橋市総合福祉会館において、来賓の山本龍市長様、塩崎政江教育長様の代理として市教委指導担当次長林恭祐様、松井英治市福祉部長様、塚田昌志市社会福祉協議会会長様をお迎えして、総会を開催しました。

当日は多くの理事の方々に参加いただき、昨年度の事業・会計・監査報告、今年度の事業計画・会計予算も無事承認されました。

今年度も掲げた基本方針に沿って、知的な障害のある方が、生き活きと生活していけるよう活動してまいります。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 市手をつなぐ育成



## 前橋市手をつなぐ育成



## 前橋市手をつなぐ育成会 平成29年度 基本方針

本会が支援対象の中心としている、知的な障害のある方々の多くは、自分の気持ちを表現し伝えることが苦手です。そのため、周囲で支援する立場の者が、わかりやすく情報を本人に伝え、また生活のスタイルや方向性等の選択を促しながら、丁寧に本人の意思を引き出し受けとめていく必要があります。そして、そのニーズに合わせて適量の援助を行い、地域の中で共に生きる力を支え育てていくことこそが、本会の活動の基本となるものであります。

ノーマライゼーション・共生社会などの福祉理念は、概ね社会の中に浸透してきたように思えます。国の法制度も昨年「障害者総合支援法」の一部改正が行われ、地域の中での一層の自立や、高齢化に向けての一定の配慮なども行われることとなり、制度としては一歩前進したように思えます。また「障害者差別解消法」施行から1年がたち、障害のある方の人権を護る仕組みや必要な配慮について、十分とはいえませんが、少しずつ整えられていく方向性が見られるようになってきました。

しかしながら現実的には、地域の中で安心した生活を支えるべき実際の社会資源はまだ不整備で、特に現場のマンパワー不足は一層深刻なものとなってきております。また、神奈川の津久井やまゆり園で起きた悲惨な事件と、その後の報道姿勢などについて考えたとき、本当の意味での安心安全な生活、そして一人一人の人権を護るということについて、まだまだ大きな課題があるということも、あらためて思い知らされました。

このような厳しい状況の中、前橋市においては、国の法制度の不十分さを地域の実情にあわせて補完すべく、一層の社会資源整備を推進していますが、より現実的なニーズに合致した環境整備のためには、私たち当事者団体が、当事者としての意見を集約して、市に明確に伝え積極的に協力しながら、独自の制度や資源づくりに責任を持って参画していくことが重要であります。本会としてもその責任を重く受け止め、しっかりと役割を担っていく決意を持たなければなりません。

また本人活動支援や権利擁護及び相談支援体制の整備、関係者間の更なるネットワークの強化など、本人や家族が社会の中で、安心して生き活きと暮らしていけるような環境を構築していくことも重要な課題です。

障害者基本法の「すべて障害者は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有する」というあたりまえの基本理念が、現実のものとなるよう今年度も活動を続けてまいります。

1.収入の部

(単位/円)

項目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	備 考
繰越金	215,243	215,243	前年度より
会費	1,300,000	1,267,368	普通会員464人、賛助会員580人、PTA団体会費41校
補助金等	630,000	660,000	市補助金48万、県育成会委託事業18万
雑収入	1,000	14,010	行事参加費、利子等
計	2,146,243	2,156,621	

2.支出の部

(単位/円)

項目	平成28年度予算額	平成28年度決算額	備 考
事業費			
会報発行	180,000	166,142	年4回(印刷・郵送等)
施設見学会費	120,000	62,300	前教研・特担会研修の貸切バス代
県育成会委託事業	150,000	222,853	料理教室、家族教室、ゆうあいハイキング
保護者会等活動助成	250,000	233,000	光明園、たんぽぽ学園、アシスト前橋、まほろ、サニースマーケット、らいず、なかま、第1・2・3作業所、デイサービスセンター
学校関係活動助成	80,000	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織の活動助成	220,000	225,000	前特同窓会、からたち学級、わの会、水泳クラブ、陸上クラブ、フライングディスククラブ
研修費	180,000	147,212	研修会、県大会、関プロ大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	120,000	11,702	おしゃべり会、保護者会交流会
事務局費			
会議費	110,000	95,094	事務局員会議等
需用費	120,000	83,659	散歩の駆使用料、封筒、コピー用紙等
通信費	40,000	35,482	切手、メール便送料、インターネット接続料
交通費	260,000	265,400	事務局員の行動旅費
備品購入費	20,000	972	パソコン用マウス代
負担金	277,000	278,000	県育成会、社協、福祉バレード、相談員連協会費
その他			
雑費	10,000	6,804	慶弔費等
予備費	9,243	0	
計	2,146,243	1,913,620	

3.差引残高(次年度へ繰越し) 収入 2,156,621 - 支出 1,913,620 = 差引残高 243,001

1.収入の部

(単位/円)

項目	金額	備 考
繰越金	404,012	地域生活支援事業準備金
利子等	42	利子
計	404,054	

2.支出の部

(単位/円)

項目	金額	備 考
家族教室意見交換会	7,500	
計	7,500	

3.差引残高(次年度へ繰越し) 収入 404,054 - 支出 7,500 = 差引残高 396,554

1.収入の部

(単位/円)

項目	平成29年度予算額	備 考
繰越金	243,001	前年度より
会費	1,300,000	普通、賛助、PTA団体会費
補助金等	630,000	市補助金48万、県育成会委託事業費15万
雑収入	1,000	利子等
計	2,174,001	

2.支出の部

(単位/円)

項目	平成29年度予算額	備 考
事業費		
会報発行	180,000	年4回(印刷・郵送等)
施設見学会費	120,000	前教研・特担会研修の貸切バス代
委託事業費	150,000	ゆうあいハイキング、料理教室
保護者会等活動助成	250,000	申請により助成
学校関係活動助成	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織活動助成	230,000	申請により助成
研修費	180,000	研修会・県大会・関プロ・全国大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	120,000	地域生活勉強会等
事務局費		
会議費	110,000	事務局員会議等
需用費	120,000	封筒、コピー用紙、トナー、インク等
通信費	50,000	切手、ゆうメール料金、インターネット接続料
交通費	260,000	事務局員の行動旅費
備品購入費	20,000	備品、修理費
負担金	288,000	県育成会、社協、福祉バレード
その他		
雑費	10,000	慶弔費等
予備費	6,001	
計	2,174,001	

1.収入の部

(単位/円)

項目	金額	備 考
繰越金	396,554	地域生活支援事業準備金
本会計繰入金収入	0	
計	396,554	

平成二十八年度 会計決算報告

特別会計決算報告

平成二十九年度 会計予算

予算 特別会計

# 平成29年度 事業計画

**(1) 啓発事業** .....

- ①会報の発行  
年間3～4回を目標に発行  
全会員及び関係機関に寄贈  
各学校・施設の紹介や行政の動向等情報をお伝えします。
- ②福祉パレードに参加・協力 9月5日(火)  
県庁での集会及び前橋市集会、その後パレード等啓発行事へ参加
- ③市内特別支援学級・特別支援学校作品展示会への協賛
- ④インターネットの活用  
ホームページにて本会の紹介等を行います。  
(ホームページアドレス)  
[http:// m-teotunagu.moo.jp/](http://m-teotunagu.moo.jp/)  
(メールアドレス)  
[info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)

**(2) 研修事業** .....

- ①施設見学会  
前教研特別支援教育部会、特別支援学級担任会、育成会の共催で貸切バスの費用を負担します。
- ②大会への参加  
・群馬県手をつなぐ育成会大会 (7/29 渋川市民会館)  
・全国手をつなぐ育成会連合会 関東甲信越大会 (7/22 千葉県松戸市)  
・全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 (9/23.24 北海道札幌市)
- ③保護者研修会への参加・協力  
群馬県手をつなぐ育成会主催 2月中旬

- ④健康増進研修 (自主事業)  
口腔衛生研修などを検討中

**(3) 委託事業** .....

県の「知的障害者社会活動推進事業」を受託して行います。  
今年度受託事業  
・ゆうあいサークル (ゆうあいハイキング)  
自然とふれあい生きる力を育みながら、仲間や支援者との交流を深めます。今年は日帰りバスハイクを企画  
・完全自立講座 (料理教室)

**(4) 団体等の活動費助成** .....

本人たちの余暇活動 (休日や夜間) や、各施設の保護者会・家族会活動の充実を目的に助成します。

**(5) 関係機関・団体との連携、陳情行動** .....

関係機関、自立支援協議会、施設・作業所保護者会等との連携を強化し、意見交換や課題分析、ニーズの集約などを行い、必要に応じて市に対して意見陳情や政策提言を行っていきます。

**(6) 地域生活支援事業** .....

- ①権利擁護や相談支援体制を整備します。
- ②本人部会結成及び活動の支援を行います。
- ③施設・作業所保護者会、特別支援学校PTA等の交流会を開催します。
- ④群馬県知的障害児者生活サポート協会総合補償制度への加入を促進します。
- ⑤地域生活勉強会  
地域生活を支えていくための社会資源の整備や制度づくりなどについて学び、意見交換を行います。
- ⑥おしゃべり交流会の開催  
前橋市総合福祉会館にて月1回開催 (概ね第2火曜日)  
テーマを決めて勉強及び自由に話せる時間をもちます。

おしゃべり交流会

実施日	テーマ・概要	会場
7月11日(火)	夏休み オススメスポット特集! (^ ^)/	子育て研修室(1F)
9月12日(火)	書いてみよう! あんしんノート	子育て研修室(1F)
10月10日(火)	移動支援使えてますか?	子育て研修室(1F)
11月	健康について勉強しましょう!	未定
12月12日(火)	前橋市内の事業所、サービス	子育て研修室(1F)
平成30年		
1月 9日(火)	らんだむとーきんぐ	子育て研修室(1F)
2月13日(火)	後見人制度や法律のこと、ちゃんと知りたい	子育て研修室(1F)
3月13日(火)	グループホームのこれから	子育て研修室(1F)

問い合わせ・申し込み先①: メールアドレス (出来るだけこちらにお願いします)

**info@m-teotunagu.moo.jp**

問い合わせ・申し込み先②: 携帯TEL (Eメールを利用されていない方のみ)

**080-3128-5522 (担当者: 前川)**

※お申し込み頂いてない方でも、飛び入り参加 大歓迎です。当日急に予定が空いたというときも、参加してみてください。(ただし資料が不足してしまう場合もありますのでご容赦ください)



6月6日(火)の「おしゃべり交流会」に、今年も前橋市障害福祉課より西潟課長さんと4名の係長さんにご出席いただき、市の障害福祉について意見交換をさせていただきました。

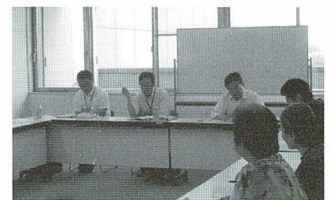
例年通り、予め市に提出していた「質問及び要望書」(下記に要望項目を掲載)の内容について、要望の具体的な主旨をお伝えして、それに対しての市としての方針や、担当者としての見解、そして実際の取り組み状況などをご説明いただくというスタイルで今年もおこないました。

今年も1番に掲げた要望は「地域生活支援拠点」についてで、障害のある方や家族が、地域の中で暮らし続けるために、24時間365日いざというときにも安心して対処してもらえる安心拠点の整備です。全国的にも大いに期待されている資源で、国の指針により、全国のすべての福祉圏域において、最低1カ所の拠点を29年度末までに設置する計画が策定されていましたが、現状としては全国的に進展していないようで(28年度末で県内での具体的整備数は0カ所)、前橋市でも、次期の障害福祉計画にも継続して盛り込み、自立支援協議会に専門部会を置いて、その具体的なスタイルや機能などについて本格的に検討し、32年度末までを目標に整備していく方向にあるようです。

その他、災害時要支援者の登録や、障害福祉におけるマンパワー不足など、多くの課題について意見交換をおこない、それぞれの課題についてあらためて問題意識を共有することができたのではないかと思います。

今後も本会として、本人や家族の要望の集約に一層努力して、市にお届けしていきたいと思っておりますので、会員みなさんもこれまで以上に、積極的にご参加くださいますよう、お願いいたします。

お届けした「質問及び要望書」の全文や当日の様子はホームページにて掲載いたします。紙面の都合上、こちらではその抜粋のみご紹介いたします。



1. 本格的な(24時間365日対応の)「地域生活支援拠点」等の早期整備
  - ・緊急時対応ができる資源の確立
  - ・単独型ショートステイの推進
2. 障害者虐待防止法・差別解消法について
  - ・関係者及び一般市民向けの啓発
  - ・虐待および人権侵害が繰り返されないような取り組みの強化
3. 大震災等非常時における避難等について、障害のある方々等特別に配慮が必要な方々への対応方針を整備、その内容等の周知徹底
4. ヘルパーステーション・サービスステーション等の拡充と利用料補助
5. 健康管理のあり方について
  - ・各事業所の健康管理状況の調査と指導
  - ・必要経費の補助
  - ・重度の障害者の入院を積極的に受け入れてくれる医療機関及び病床の確保
6. 障害者福祉に従事する関係者の処遇改善
7. グループホームの充実



### 平成29年度 前橋市手をつなぐ育成会役員紹介

会 長	原澤 正光	副 会 長	笠原 秀樹	会 計	勝山 幸彦	事 務 局	赤石ヤス子
副 会 長	向井 道子		中山さち江		廣瀬 明美	顧 問	太田 隆也
	市根井雅彦	書 記	茂木加代子		阿部 尚子	会計監査	富永美喜子
	前川 知三		丸山千恵子	事 務 局	岡村 昭義		飯島 琴美
	関口 純子		大島 佳織		高山 由貴		黒岩 全代
	高橋まさ子				柳澤 美樹		

お知らせ	群馬県手をつなぐ育成会大会	7月29日(土)	渋川市民会館
	保護者交流会	8月30日(水) 10時	前橋市総合福祉会館 第5会議室
	福祉パレード	9月 5日(火)	群馬県庁・前橋市役所
	講演会「親なきあと」を考える	9月16日(土) 14時~16時30分	前橋市総合福祉会館
	生き生きゆうあいハイキング	9月23日(土)	水上方面バスハイク
	ひまわり会ふれあい発表会	10月 1日(日)	群大附属特別支援学校

### 編集後記

平成29年度も始まって早3ヶ月が経ちました。今号は毎年総会と6月のおしゃべり交流会のご報告が中心で活字ばかりになります。お読みいただけましたでしょうか。これからも会員の皆様には有益な情報も盛り込みながら楽しめる会報をお届けいたします。(O)